

# 新大宮商店街 空き店舗改装

# 映像を核 人集まる「広間」に

空き店舗を人の集まるスペースに改装した施設「新大宮広間」が、京都市北区の新大宮商店街に登場した。大型プロジェクター付きの談話室や動画撮影用のスタジオを備えており、家主らは「映像を核にしたコミュニティづくりの場にしたい。アイデアの共有や情報発信の拠点として活用してほしい」とPRしている。

誰でも無料で使える1階の談話室。大型プロジェクターもある



施設は、昭和初期に建てられた木造2階建て約120平方メートル。1階には約100㎡のプロジェクトルームやテーブル、椅子が備えられ、誰でも無料で利用できる。調理のできる台所もある。2階は有料のスタジオで、ビデオカメラや照明、編集用パソコンなどがそろっている。

家主の荒川朋彦さん(47)が商店街のにぎわい創出に貢献したいと、市の助成金を資金の一部に活用して完成させた。「映像を一

緒に見るとというのは、場を共有するための最も気軽な手段だと考えた。スタジオでは、映像による発信の手伝いもできる」と話す。

一般社団法人「マイターン(同区)のメンバーで、グラフィックデザイナーやキャリア支援などの技能を持つ女性らが施設管理を担い、利用者を対象に、イベント企画や人脈の広げ方の相談にも応じるという。

荒川さんは2018年11月、近くの所有地に芝生広場「新大宮広場」を開設計し、イベント会場として貸し出している。これまで手作り市や子ども食堂などが開かれ、交流が生まれたという。「広間」との相乗効果で人のネットワークが広がり、新たなアイデアが生まれる場所になればと期待している。

空き店舗を改装した「新大宮広間」。新たなコミュニティが生まれる場にしたいという(京都市北区・新大宮商店街)

## アイデア共有、情報発信

開館は金・月曜と祝日の午前10時〜午後7時。スタジオの使用や全館貸し切りは要予約。問い合わせはメールでshimomiyahir@oma@gmail.com

(藤松奈美)

